

第17回中四国支部若手シンポジウム

(第6回農芸化学の未来開拓セミナー)

農芸化学の中心である有機化学、生物化学、植物生理学、微生物学、食品科学の演者(8名)を招待し、講演会をするとともに意見交換会を開き、異分野との融合による農芸化学における新領域創出のためのセミナーを開催します。

場所：岡山大学 津島キャンパス 大学院研究科棟 2階 大会議室

日時：2014年5月16日(金)14:00~17日(土)12:00



プログラム(敬称略)

5月16日(金)

14:00~14:05

開会の辞

14:05~14:45

バイオ分子と固体材料をつなぐ ~バイオセンシングのデザイン~

今中 洋行 (岡山大学)

14:45~15:25

消化管上皮バリア機能を調節する食品成分

鈴木 卓弥 (広島大学)

15:25~15:35

休憩

15:35~16:15

抗生物質耐性菌の適応と進化の一様式?:ゲノムに隠された遺伝子発現調節機構

間世田 英明 (徳島大学)

16:15~16:55

温故知新:ピレスリンから学ぶ昆虫制御の原理

松田 一彦 (近畿大学)

16:55~17:00

連絡等

18:00~

意見交換会

5月17日(土)

9:00~ 9:05

連絡等

9:05~ 9:45

生物活性物質の合成化学的研究 ~農芸化学における合成化学の役割~

清田 洋正 (岡山大学)

9:45~10:25

植物の環境応答シグナルの新たな因子『活性カルボニル種』:その生成と作用

真野 純一 (山口大学)

10:25~10:35

休憩

10:35~11:15

ポリ- γ -グルタミン酸のバイオ合成と先端機能プラスチック化

芦内 誠 (高知大学)

11:15~11:55

ヒト培養細胞によるヒトABCタンパク質の大量生産、精製手法開発

木村 泰久 (京都大学)

11:55~12:00

閉会の辞

講演会への参加(申し込み不要)は、無料ですが、意見交換会への参加(申し込み必要)は、有料(一般4000円、ポスドク・学生3000円)とさせていただきます。なお、意見交換会への参加は人数に制限がありますので、お早めにお申込下さい。

申し込み・問い合わせ先

岡山大学 大学院環境生命科学研究科 〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

村田 芳行(muta@cc.okayama-u.ac.jp)・泉 実(mizumi@cc.okayama-u.ac.jp)

荒川 健佑(karakawa@cc.okayama-u.ac.jp)・宗正 晋太郎(smunemasa@cc.okayama-u.ac.jp)